

資料4 奈良女子大学「工学部工学科」(仮称)設置に関する
ニーズ調査(企業対象調査)

**国立大学法人 奈良女子大学
「工学部 工学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】**

**令和2年2月
株式会社 進研アド**

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の奈良女子大学「工学部 工学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、島根県、岡山県、広島県、愛媛県、福岡県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	457社
	回収数(回収率)	172社(37.6%)
調査時期		2019年11月22日(金)～2019年12月20日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・勤務先の主な業種・従業員数・正規社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・採用したい学問分野・奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度・奈良女子大学「工学部 工学科」の社会的必要性・奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生に対する採用意向・奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ



企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、奈良女子大学「工学部 工学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。奈良女子大学「工学部 工学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、172企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は25.6%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が64.5%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が27.3%で最も高い。次いで「大阪府」が25.6%、「京都府」が8.7%である。
- 回答企業の業種としては「製造業」が42.4%で最も高い。次いで「情報通信業」が32.0%、「サービス業」が10.5%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「1,000名～5,000名未満」が30.2%で最も高い。次いで「100名～500名未満」が27.3%、「500名～1,000名未満」が14.5%である。

回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問系統

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「100名以上」が19.2%で最も高い。次いで「10名～20名未満」が18.6%、「50名～100名未満」が16.9%である。今回の回答企業はすべて、毎年1名以上の正規社員を採用している。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が59.3%で最も高い。次いで「増やす」が23.8%である。回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「工学」の割合が65.7%で最も高い。次いで「理学」が55.8%、「経済・経営・商学」が32.6%である。

企業対象 調査結果まとめ

奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度

- 奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で9割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「A. 女子大学では初めてとなる「工学部 工学科」を新設文理融合の現代版リベラルアーツ教育を基盤とし、創造性と批判的思考力を身につけ、科学技術で豊かな社会を構築する工学分野での女性リーダーを目指します。」「B. 工学の基礎となる教養教育と新分野を開拓する専門教育の融合 創造的課題解決演習(PBL)や学生と企業・研究所等とのコラボ教育など実践を通じた学びに触れることで、現代社会の課題を発見し、解決していく力を身につけます。」で、ともに97.1%である。

「C. 女性視点の新規分野創出など次世代を担う多様な進路 IoTやロボット、人工知能などの新技術を使った新規分野を創出する力を身につけることで、各種製造業や情報通信業、建築、生体医工学などの多様な分野での進路が想定できます。」の魅力度は95.3%であるが、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合は71.5%で最も高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

奈良女子大学「工学部 工学科」の社会的必要性

- 奈良女子大学「工学部 工学科」の社会的必要性については、97.7% (168企業) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生に対する 採用意向・毎年の採用想定人数

- 奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、93.6% (**161企業**)である。
- 奈良女子大学「工学部 工学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた161企業へ奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**334名**で、予定している入学定員数45名を大きく上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

< 属性別 >

◇ 本社所在地別

- 「西日本」エリアに本社がある企業からの採用意向は、94.8% (96企業中、**91企業**)。採用想定人数の合計は**169人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「近畿」エリアに本社がある企業からの採用意向は、95.1% (82企業中、**78企業**)。採用想定人数の合計は**153人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「大阪府」に本社がある企業からの採用意向は、93.2% (44企業中、**41企業**)。採用想定人数の合計は**83人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- 「東日本」エリアに本社がある企業からの採用意向は、92.0% (75企業中、**69企業**)。採用想定人数の合計は**162人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、89.4% (47企業中、**42企業**)。採用想定人数の合計は**94人**で、予定している入学定員数を上回っている。奈良女子大学所在エリアである西日本に限らず、全国からの採用意向が高い。

企業対象 調査結果まとめ

◇業種別

- 奈良女子大学「工学部 工学科」の学問内容と関連する「情報通信業」の企業からの採用意向は、94.5% (55企業中、**52企業**)。採用想定人数の合計は**117人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。「製造業」の企業からの採用意向は、93.2% (73企業中、**68企業**)。採用想定人数の合計は**121人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用予定数を「増やす」と回答した企業からの採用意向は、97.6% (41企業中、**40企業**)。採用想定人数の合計は**107人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。「昨年度並み」と回答した企業からの採用意向は、95.1% (102企業中、**97企業**)。採用想定人数の合計は**188人**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

◇採用したい学問系統別

- 「工学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、97.3% (113企業中、**110企業**)。採用想定人数の合計は**225人**で、予定している入学定員数を5倍以上上回っている。「理学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、95.8% (96企業中、**92企業**)。採用想定人数の合計は**186人**で、予定している入学定員数を4倍以上上回っている。

◇奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度別

- 奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えており、予定している入学定員数をすべて大きく上回っている。

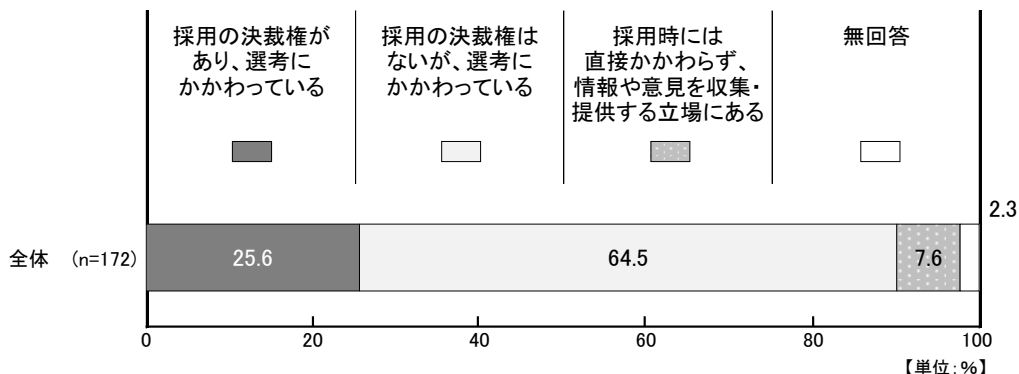
企業対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

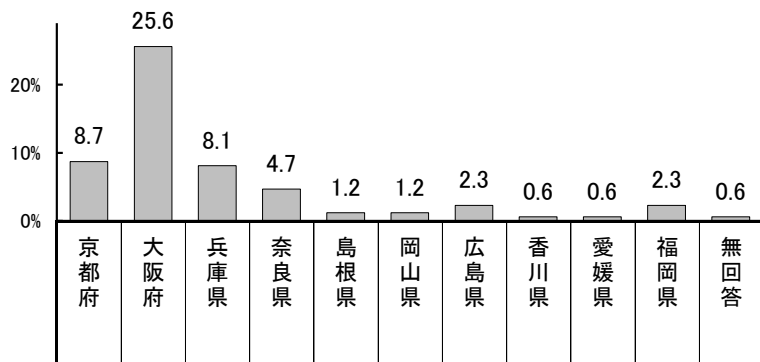
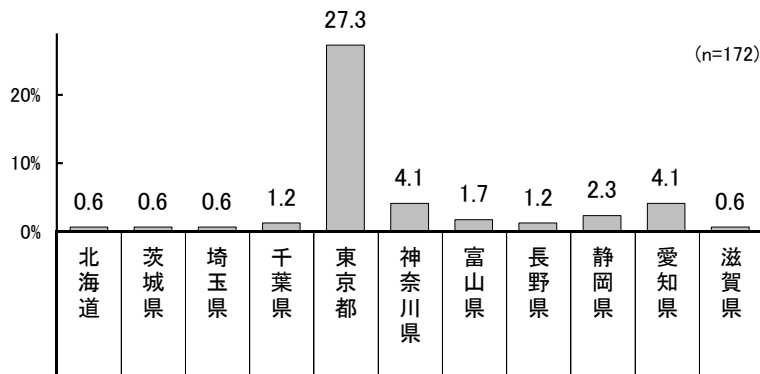
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

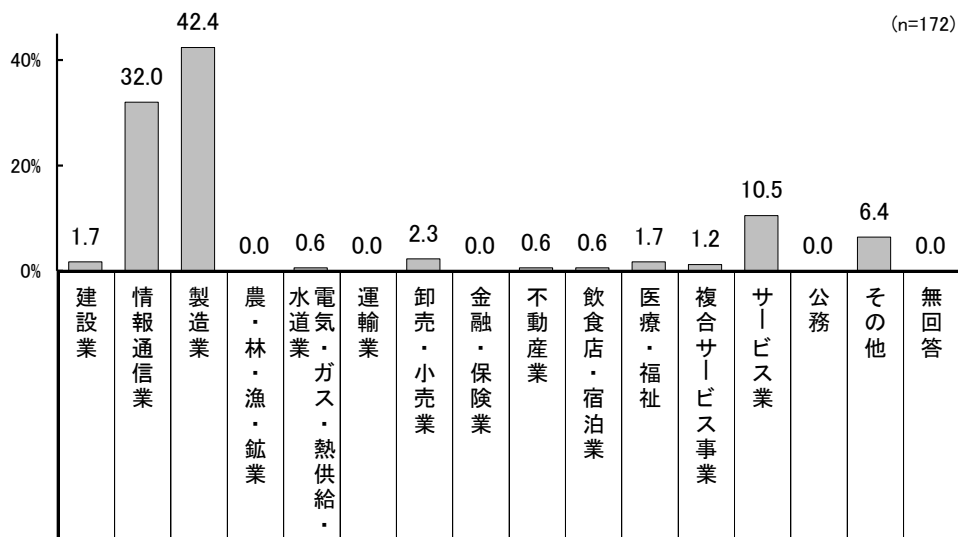
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種/従業員数)

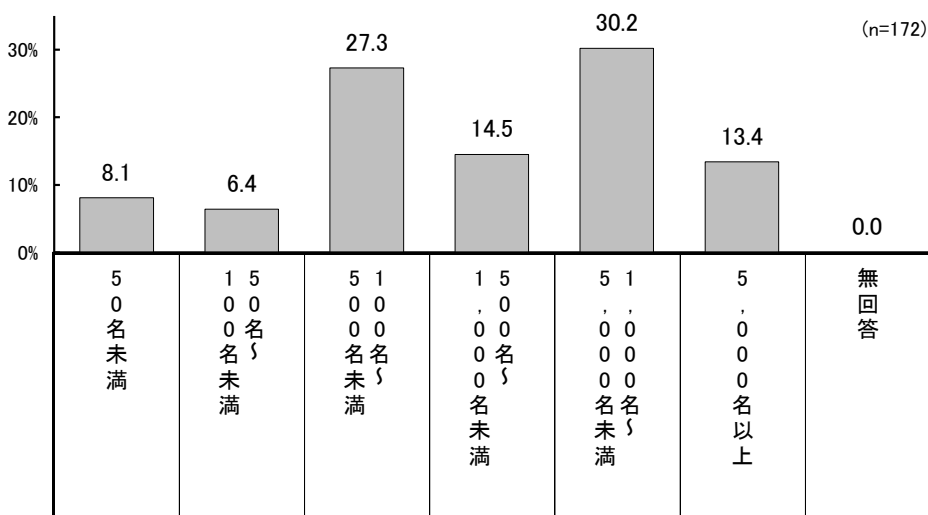
■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

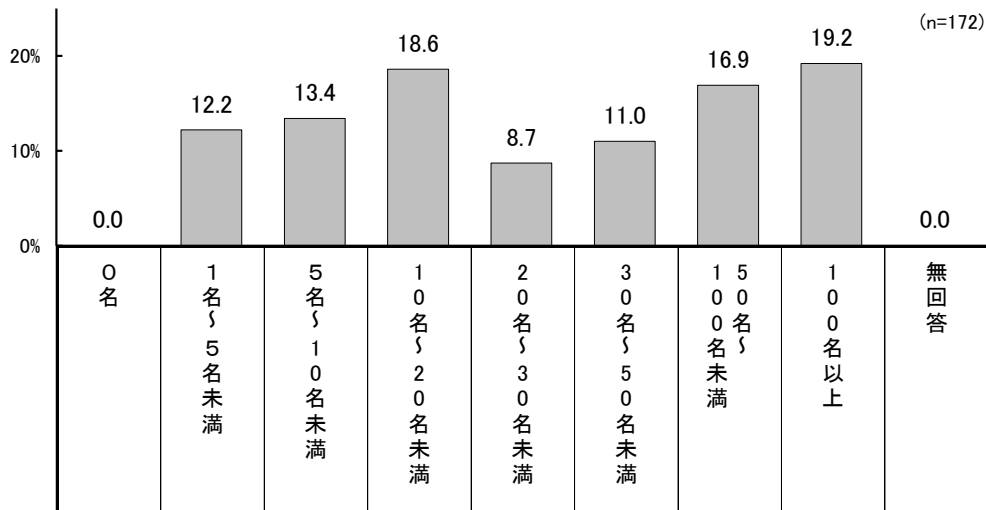
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

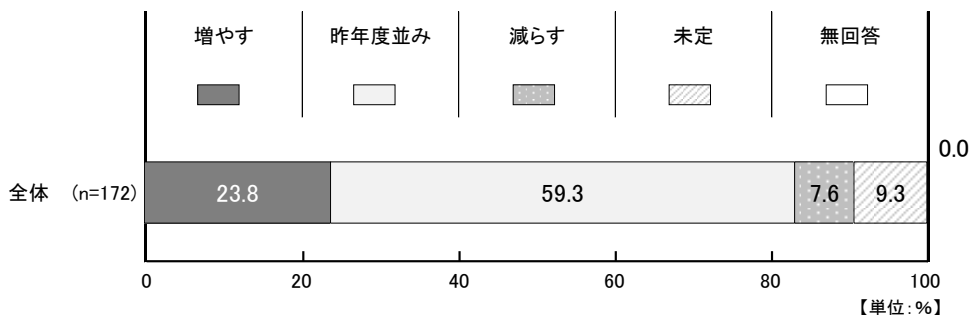
■ 正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■ 本年度の採用予定数

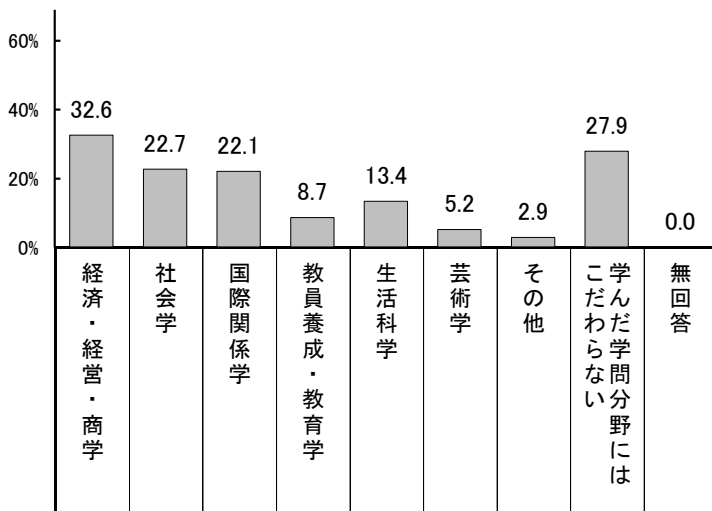
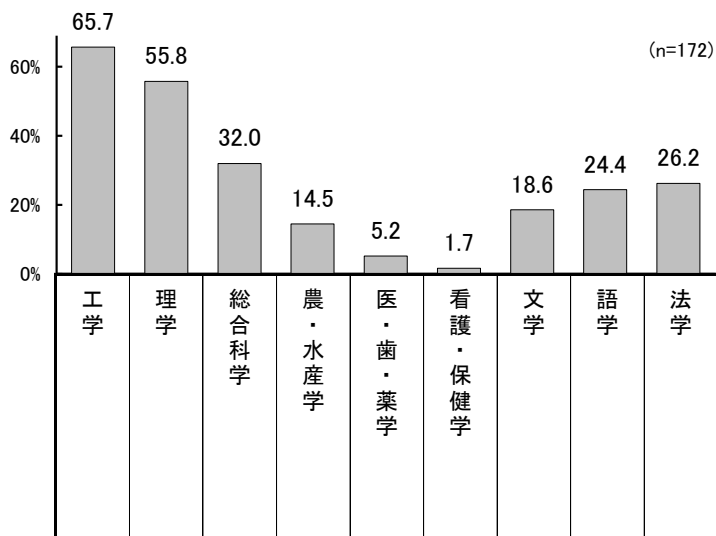
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問分野

■採用したい学問分野

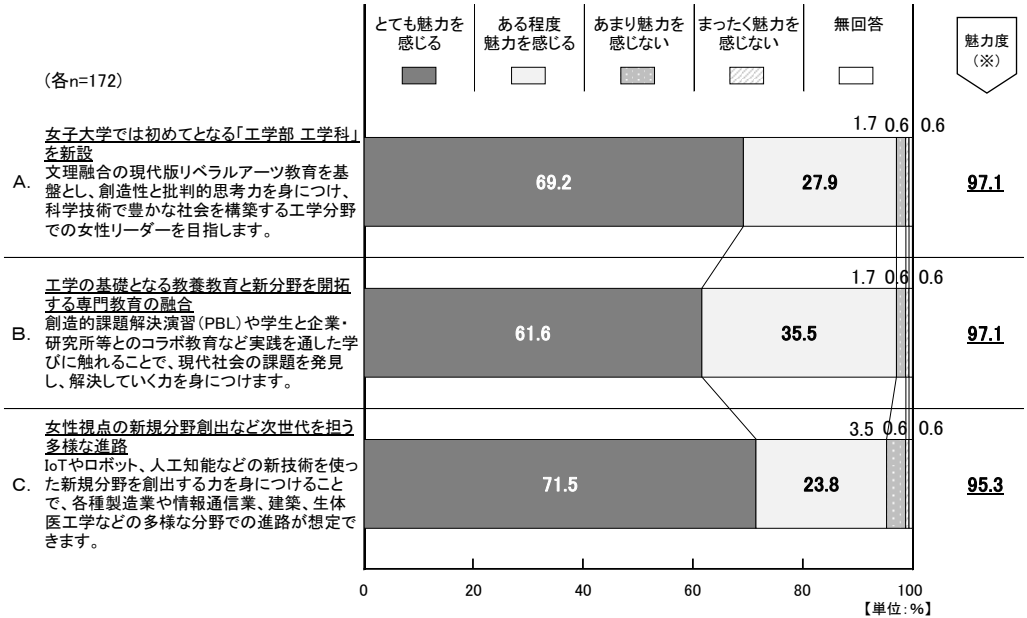
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度

■奈良女子大学「工学部 工学科」の特色に対する魅力度

Q8. 国立大学法人 奈良女子大学「工学部 工学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数＜属性別＞

■奈良女子大学「工学部 工学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数 ＜属性別＞

※奈良女子大学「工学部 工学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

＜属性別＞			採用意向(%)				採用意向企業・合計	採用想定人数・合計
			0	20	40	60		
全体 (n=172)			93.6				161企業	334人
本社所在地別	東日本 (n=75)		92.0				69企業	162人
	東京都 (n=47)		89.4				42企業	94人
	西日本 (n=96)		94.8				91企業	169人
	近畿 (n=82)		95.1				78企業	153人
	京都府 (n=15)		100.0				15企業	32人
	大阪府 (n=44)		93.2				41企業	83人
	兵庫県 (n=14)		92.9				13企業	24人
	奈良県 (n=8)		100.0				8企業	12人
	業種別	情報通信業 (n=55)		94.5				52企業
製造業 (n=73)			93.2				68企業	121人
複合サービス事業・サービス業 (n=20)			90.0				18企業	48人
その他 (n=24)			95.8				23企業	48人
従業員数別	100名～500名未満 (n=47)		95.7				45企業	78人
	500名～1,000名未満 (n=25)		100.0				25企業	58人
	1,000名～5,000名未満 (n=52)		92.3				48企業	122人
	5,000名以上 (n=23)		91.3				21企業	51人
平均採用人数別 正規社員の採用	10名～50名未満 (n=66)		97.0				64企業	116人
	50名～100名未満 (n=29)		93.1				27企業	92人
	100名以上 (n=33)		90.9				30企業	81人
予定採用数別 本年度の採用	増やす (n=41)		97.6				40企業	107人
	昨年度並み (n=102)		95.1				97企業	188人
採用したい学問分野別	工学 (n=113)		97.3				110企業	225人
	理学 (n=96)		95.8				92企業	186人
	総合科学 (n=55)		96.4				53企業	109人
	文学 (n=32)		96.9				31企業	62人
	語学 (n=42)		95.2				40企業	88人
	法学 (n=45)		97.8				44企業	91人
	経済・経営・商学 (n=56)		96.4				54企業	104人
	社会学 (n=39)		94.9				37企業	80人
	国際関係学 (n=38)		94.7				36企業	83人
	学んだ学問分野にはこだわらない (n=48)		93.8				45企業	92人
特色「工学科」に対する魅力度別	特色A 魅力あり (n=167)		95.2				159企業	333人
	特色B 魅力あり (n=167)		95.2				159企業	334人
	特色C 魅力あり (n=164)		95.7				157企業	329人
社会的必要性別	必要だと思う (n=168)		95.8				161企業	334人

※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

資料5 企業対象 調査票

国立大学法人 奈良女子大学 「工学部 工学科」(仮称、設置構想中)に関するアンケート

国立大学法人 奈良女子大学では2022年(令和4年)4月より、「工学部 工学科」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 建設業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 情報通信業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 農・林・漁・鉱業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他() |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

裏面へ続く→

資料6 奈良女子大学における工学部設置への要望書

要 望 書

国立大学法人奈良女子大学
学長 今岡春樹 殿

貴学が構想している「工学部の設置」について以下のとおり要望します。

Society5.0 に向かって社会の変革が進む今日の社会において、新学習指導要領では、将来の予測が難しい社会の中で未来を創造するために必要な資質・能力や未知の社会を生き抜く力を育む教育という視点が示され、高等学校では、それらに基づいた教育改革が進められています。ここでは、既存の知識だけではなく情報科学を含めた科学的なリテラシーを持ちながら、自ら主体的に社会の課題に貢献し、社会の発展を担う人材の育成を目指しています。

このため、現在、奈良県内の高等学校においては、奈良県教育振興大綱「アクションプラン」に基づき、グローバル化や情報通信技術をはじめとする技術革新の進展に対応し、先行き不透明な時代にあっても高い付加価値を生み出し、かつ世界に伍して活躍する新しい価値を創造していくことができる人材の育成に取り組んでいます。

こうした中、このたび貴学が構想する工学部では、文系・理系であることを問わず、リベラルアーツ教育を基盤として、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力について、実践的な課題解決(PBL)型の教育を核とした教育課程を構想されています。

それらは、社会の発展に寄与できる人材育成に対応するもので、とりわけ女性の進出が少ない工学分野において、社会及び地域にイノベーションを創出する女性工学系人材の育成に寄与すると考えます。また特に、既存の工学部がない奈良県にとって、非常に有意義なものと考えます。

貴学の構想を早期に実現し、奈良県の高校生の進路選択の幅が増えることを大いに期待いたします。

令和2年3月3日
奈良県高等学校長協会
会長 西上 英雄



要望書

国立大学法人奈良女子大学
学長 今 岡 春 樹 殿

貴学が構想されている「工学部の設置」につきまして、以下の通り要望いたします。

貴学は、我が国における女性の高等教育機関として創立以降百十余年に亘る伝統と、数多くの人材を内外各分野に輩出されてきた実績をもとに、今般、新たな教育課程として工学部の設置を構想されています。

本構想は、「リベラルアーツにより問題発見能力と想像力を兼ね備えた社会、技術、産業の未来を拓くエンジニアを育てる」ことを目指すものとされ、具体的には、

リベラルアーツ教育による幅広い教養に基づき多様な課題を理解し対応できる力の涵養、専門教育による専門知識や技術を理解し新たな技術を実現可能な形で提案する力の涵養、課題解決（PBL）型教育による主体性の獲得とチームで協働できる社会性の涵養を実現する教育課程の展開とされています。

これは、Society5.0時代に求められる人材には、文系・理系であることを問わず、リテラシー、論理的思考力、規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められ、また、これらの能力を身に付けるためには基盤としてのリベラルアーツ教育が重要であり、能力育成に際しては課題解決（PBL）型教育が必要であるという考え方に合致するものであり、あわせて産業界が期待する、地域・社会全体にイノベーションを創出する女性工学人材の育成に繋がるとともに、フィンテック、デジタル、決済、モバイル化等情報面での変革の基礎・応用、および、地域活性化等にも寄与するという点で、われわれ金融界も大きく期待するものであります。

以上より、リベラルアーツを基礎として未来を担う主体性ある女子が創る新しい工学教育は、奈良県内初の工学部創設に留まらず、地域・社会全体の活性化に寄与する点で、産業界、金融界としても大いに期待するものであり、当該観点より早期の実現を強く要望いたします。

令和2年1月30日
株式会社 南都銀行
取締役頭取 橋本 隆史



要 望 書

今の日本にとって、また世界にとって、今まで以上の早さで社会のグローバル化・多様化・進歩が進む中、毎日のように様々な課題が発生しています。

英国 EU 離脱、米中情勢、北朝鮮問題、香港反政府デモ、環境問題、不安定な中東等と混とんとする中ではありますが、すでに訪れている SDG's や 5G の世界への対応も必要です。まさに人間中心の社会の中で活躍できる人材が必要です。

そんな時代の中で、貴学が構想している「工学部の設置」について以下の通り要望します。

Society5.0 時代に求められる人材には、リテラシー、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められており、その能力の育成には実践的な課題解決（PBL）型の教育が必要とされています。

貴学は、我が国における女性の高等教育機関として、創立 114 年の伝統と数多くの女性人材を輩出してきた実績を基に、新たな教育課程として工学部の設置を構想しています。本構想はリベラルアーツ教育による幅広い教養に基づいた多様な課題を理解し対応できる力の滋養、専門教育による主体性の獲得とチームで協働できる社会性の滋養を実現する教育課程の展開であり、とりわけ女性の進出が少ない工学分野において、社会および地域にイノベーションを創出する女性工学系人材の育成という目的は産業界として大いに期待できるものであり早期の実現を強く要望します。

令和 2 年 2 月 1 日

一般社団法人 奈良経済産業協会

会長 林田壽昭



要 望 書

国立大学法人奈良女子大学

学長 今 岡 春 樹 殿

貴学が構想している「工学部の設置」について以下のとおり要望します。

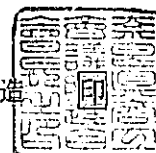
Society5.0時代に求められる人材には、文系・理系であることを問わず、リテラシー、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められており、これらの能力を身に付けるためには基盤となるリベラルアーツ教育が重要であり、また、これらの能力の育成には実践的な課題解決（PBL）型の教育が必要とされています。

貴学は、我が国における女性の高等教育機関として、創立百十周年の伝統と数多くの女性人材を育成し社会に輩出してきた実績を基に、新たな教育課程として工学部の設置を構想しています。本構想は、リベラルアーツ教育による幅広い教養に基づいた多様な課題を理解し対応できる力の涵養、専門教育による専門知識や技術を理解し、新たな技術を実現可能な形で提案する力の涵養、課題解決（PBL）型教育による主体性の獲得とチームで協働できる社会性の涵養を実現する教育課程の展開であり、とりわけ女性の進出が少ない工学分野において、社会及び地域にイノベーションを創出する女性工学系人材の育成という目的は産業界として大いに期待できるものであり、早期の実現を強く要望します。

令和2年2月6日

奈良県商工会議所連合会

会長 小 山 新 造



要 望 書

国立大学法人奈良女子大学

学長 今 岡 春 樹 殿

貴学が構想している「工学部の設置」について以下のとおり要望します。

経済発展と社会的課題解決の両立を求められる Society5.0 時代にあつては、文系・理系を問わず、リテラシー、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力を有する人材が求められています。また、これらの能力を身に付けるためには、基盤となるリベラルアーツ教育が重要であり、これらの能力の育成には実践的な課題解決（PBL）型の教育が必要とされています。

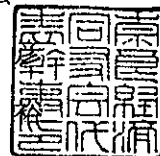
貴学は、我が国における女性の高等教育機関として、創立百十周年の伝統と数多くの女性人材を育成し社会に輩出してきた実績を基に、新たな教育課程として工学部の設置を構想しておられます。本構想は、リベラルアーツ教育による幅広い教養に基づいた多様な課題を理解し対応できる力の涵養、専門教育による専門知識や技術を理解し、新たな技術を実現可能な形で提案する力の涵養、課題解決（PBL）型教育による主体性の獲得とチームで協働できる社会性の涵養を実現する教育課程の展開であると考えます。とりわけ女性の進出が少ない工学分野において、社会及び地域にイノベーションを創出する女性工学系人材の育成という目的は地元産業界として大いに期待できるものであり、早期の実現を強く要望します。

令和 2年 2月 13日

奈良経済同友会

代表幹事 北 義

代表幹事 吉 田



要望書

国立大学法人奈良女子大学

学長 今岡 春樹 殿

貴学での工学部設置に関し以下のとおり要望します。

現在、日本の産業界には国際競争力強化のため、さらなる生産性の向上、技術の高度化が求められています。一方、少子化・高齢化の影響から、熟練技術者・技能者の高齢化、若者の“製造業離れ”による人材の量と質の低下が顕在化しています。さらに、グローバル化の進展に伴い、産業界に求められる人材の能力も多様化するなど、人材の育成と確保は産業界における喫緊の重要課題の1つとなっています。

今後、少子化が進むなか、産業界に人材を供給する大学との連携を深めることは、その重要性を増すものと考えられます。産学連携の強化は、産業界にとっては大学が持つ知見、研究成果、人的ネットワークを活用することができ、また、大学側にとっては産業界の専門的スキルの獲得、最新研究設備の利用や研究資金の獲得など、大学と産業界の双方にさまざまな相乗効果が期待されます。

このような環境下、貴学が構想されている工学部設置は、産業界における人材ニーズ、特に女性工学系人材の育成に完全に符合するものであり、奈良県下に開発・生産拠点を持つ当社としても、全面的にその早期実現を要望します。

令和2年2月17日

DMG 森精機株式会社

取締役社長 森 雅彦

